

農業のリサイクリングについて

最近、環境汚染などによる公害問題が喧しくなるにつれて、農業の面でも清浄で循環するいわゆるクリーン、アンド、リサイクリングの問題が識者間で唱えられてきた。特に先般朝日新聞に連載された有吉佐和子さんの「複合汚染」という小説は、この問題を大きく採り上げ、多くの読者に食料品に対する不安感を与えたことは否めないことである。

しかしながら、わが国のように狭い耕地で1億人以上の人達の食料の相当部分を生産し、米の如きは完全自給して余る状況にあることは、明治以来わが国農業技術者の絶ゆまざる努力による技術の進歩と生産に必要な肥料、農薬など化学工業の急速な発展に負うところが極めて大きいことはいままでもないことである。だがこのことが、従来の動植物の生態系に大きな変化を与えたことも事実である。

最近このような状況から一部の農家の間で無肥料、無農薬栽培が行われてきたが、国内自給度の向上という大局的見地に立つならば、このような栽培法を全般的に普及することは困難であろう。

先般ある新聞紙上で異色の文芸家野坂昭如氏が同志と共に水稻の無肥料、無農薬栽培を行ったところ、収穫皆無であったことを報じていたが、これは笑えない現実である。

要は植物調節剤を始めとする農薬についても官民一体となり、人畜に対し安全で効率的農薬の開発に努められ、近代的科学技術の上に立った新しいリサイクリングの確立こそ急務ではなからうか。

(社団法人全国農業改良普及協会会長 徳安健太郎)

目 次

(第9巻第9号)

第5回APWSS会議日本開催を顧みて 一経過と感想	2
＜農林省東北農業試験場 野田健児＞	
ま え が き	2
1. 会議の日程と運営	2
2. 参加国、参加者	3
3. 講演内容	5
1) 特別講演	5
2) シンポジウム	5
3) 一般講演	6
4. エクスカーション	8
5. レセプション、パンケット等	9
6. 役員会および総会について	9
む す び	10
果樹園の多年生雑草の生態と防除法	10
＜農林省果樹試験場 広瀬和栄＞	
1. 果樹園の草種とその生態	12
2. 宿根草の防除と除草剤	13
3. イネ科多年生草用除草剤	13
4. 広葉宿根草用除草剤	15
① つる性の草	15
② そう状の草	17
③ その他の多年生雑草	18
昭和50年度春夏作芝生関係除草剤、 生育調節剤試験成績概要	19
＜財団法人 日本植物調節剤研究協会＞	
新除草・調節剤 CNP・ダイムロン	23